

三上 愛

Profile

日本の伝統的な染色技法と表現を学んだ後、工芸的装飾性と手仕事の手法を自身で変容させ、染めた和紙と布を使い作品制作。2012 年からは製本技術を学び、テキスタイルアートとブックアートの融合を実践している。群馬県高崎市在住。

参考作品

実際の出品作品とは異なります

ふれる 2021 年 布、和紙、ウール、合成藍、胡粉
28.2×18.2×5.8cm



グレーの布張りの箱に、色調の異なる藍色の布による表紙と折り本が収められている。2020 年のパンデミック時に、自身がが生活の中で毎日履いていた毛糸の靴下を、自分の体を守ってくれるアイテムとして捉え、その経年変化も愛おしながらで洗い、靴下を染料に浸け、和紙で重ねあわせて編み目を写しとり、再び整える様子を本のかたちにしたものだという。